

(様式第2号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件1)

2021年3月15日  
住所 松本市波田 10068-3  
企業名 株式会社 小石興業  
代表取締役 小石 雅之

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

弊社の経営理念にある「新しい事への挑戦を続け、地域に必要とされる会社を目指します」という一文は、SDGs の達成と目的を同じくするものであり、全社員がそれぞれの役割を果たすことでSDGs の達成に貢献していきます。

3 側面 (主な分野に○)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 <small>登録年月日:</small>
環境 社会 経済	建設現場において排出される産業廃棄物の排出量を削減させる。	【産業廃棄物排出量】 2019 年度実績 1,340kg ↓ 2030 年度目標 1,073kg	
環境 社会 経済	ドライテック※の受注増加を図る。 ※ドライテックとは従来の舗装材に比べ、自然環境の保全やヒートアイランド現象の抑制に優れた建設資材である。	【受注量】 2019 年度実績 0 m <sup>3</sup> ↓ 2030 年度目標 200 m <sup>3</sup>	
環境 社会 経済	健康経営に継続して取り組み、従業員のヘルスリテラシーを向上させる。	【要再検査者率】 2019 年度実績 54% ↓ 2030 年度目標 20%	

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、(様式第3号)「SDGs 達成に向けた具体的な取組」(要件2)に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の3側面の全てについて重点的な取組を記載してください。なお取組が複数の分野にまたがる場合は、それぞれの分野に「○」をしてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、年1回以上進捗管理を行い、状況を記載してください。





	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
32	□	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・ ハローワーク等と連携し、地域出身者を積極的に採用している。 ・ 現場の周辺住民にはご挨拶と説明会を行い、対話に基づき自社事業が地域に与える影響を把握し対応している。				4					9		11	12		14	15		17		
33	□	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・ 年に1回上高地ボランティアを全従業員で実施している。 ・ 2020年度寄付実績：松商学園高等学校、松本児童園 等				4							11			14	15		17		
34	□	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ										8	9		11	12	13					
35	□	【内部管理体制】 ・ 経営理念及び経営目標を社内共有している	基本	・ 経営理念を明文化している。 ・ 年初、期初に経営目標を代表者が全社員に説明し、共有している。									8	9								17	
36	□	【法令遵守】 ・ 法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・ 安全大会や研修会においてコンプライアンスの重要性を全社員に周知・徹底を図っている。																		16	
37	□	【組織体制】 ・ 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	【予定】 ・ CSR担当者を選任し、企業が社会に与える影響について責任を持ち、社会の持続的発展のために貢献すべきとする考え方を周知していく。																		16	
38	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・ ステークホルダーとの対話が何よりも重要であるとの認識のもと、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を、対話を通じて把握し、対応している。																		16	17
39	□	【リスクマネジメント】 ・ リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																			16	
40	□	【社会的責任】 ・ CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																			16	
41	□	【事業継続】 ・ 事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	災害時におけるBCP、感染症に関するBCPを策定している。										9		11		13	13.1			16	
42	□	【事業承継】 ・ 事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ										8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				

【記載留意事項】

・ 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・ 「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・ 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）